

# 集落活動センター いしはらの里

## いしはらの里 協議会

全体の進捗の把握、調整、決定を行う（3ヵ月毎程度に開催）  
会長：筒井良一郎  
役員：部落3役、議員、部会3役、消防分団、婦人会、石原生改、クラブ高嶺、老人クラブ、こども会ほか→地域全体へ

## まずは こちら

## 連絡会

各部会間の調整と提言を行う。⇒各取組の「重なり」を調整する  
実働部隊として、身軽に活動する（月1回程度の開催）  
構成：事務局（応援隊）、部会長、部会副会長など

### 【直販】

- 直販所の開設や加工品など
- 5月3日に直売・試食会「まると石原よさく市」を開催

### 【共同作業支援】

- 作業支援や耕作放棄地、鳥獣害の解消など
- 作業をまとめ雇用に繋ぎ？

### 【新エネルギー】

- 小水力、太陽光発電など
- 資源活用、基礎的資料など
- 大学等、研究機関等と連携？

### 【集い】

- 集いの場づくり
- あったかられあいセンターや、保育所でのデイ

## 石原で暮らし続けるために 「働く・稼ぐ」 仕組みをつくる

### 直売所 (地域産品の加工・活用)

石原のものの直売・加工販売

ひと：直売所に取組みたいものを中心に  
農・種類の調整を支援員に？

場所：伝吉さんの田んぼ、モーターズ？  
⇒まずは簡易なものから

いつ：GWへのテスト販売を目指す  
⇒4月中に準備、勉強会など

方法：試験的販売から順次拡大  
集荷や生産計画、ニーズ把握など

### 新エネルギーの活用（売電等）

温泉、五右衛門風呂、マキ風呂など  
再生可能エネルギー発電の街灯・売電

場所：温泉を旧小学校に？  
北郷口での小水力発電など

いつ：まずは情報把握から  
方法：試験的販売から順次拡大  
集荷や生産計画、ニーズ把握など

### 民宿（農家民宿など） 民泊、宿泊所

旅館跡や保育所、旧郵便局の活用  
旧小学校の教室を活用

場所：旧小学校は2〜3年後に？  
保育所、郵便・旅館跡の活用

いつ：24年度に研修・勉強会など  
方法：民泊や森の巣箱の体験などを通じ  
イメージづくりをしていく

■「何のために稼ぐのか（目的）」、「どれくらい稼ぐのか（目標）」を  
考えていくことが必要  
■「ありのままの田舎」「田舎でな  
いと体験できないもの」を提供して  
いくことが大事

## 石原で/石原を 「支える」

### 人的支援 (農作業等の手伝い)

作業の支援・代行の派遣⇒雇用へ

場所：拠点（旧小学校）を事務局に  
いつ：自分たちですぐにでも始める  
方法：支援員が情報を集約・マッチング

### 生活サービスの維持 (JA店舗サービスの維持等)

SS・肥料販売の維持等  
店舗・周辺設備の活用等

場所：JA 生活店舗を中心に  
いつ：4月以降

方法：ニーズ把握（アンケートの実施）  
休憩スペース（集い）の設置等

### 在宅高齢者や子育て支援 病院・診療所など

子育て支援の充実：小児診療など  
病院・診療所：在宅診療・診療科目

ひと：行政や専門機関との協力必要  
場所：旧保育所の活用？  
いつ：すぐに取っかかりられる部分少ない？

■10年後には、支える側より支え  
られる側が多くなってくる  
■こどもが生活できる、帰ってきや  
すい/住みやすい環境に

## 石原を暮らしやすい環境に/ 石原に求めてもらえる環境にする 石原を「実現する」

### 地域資源の研究・活用

山菜や木材、自然、神社、  
地域的資源などの活用

ひと：専門家の助言が必要な場合も  
いつ：1年目は情報収集から  
方法：情報発信（ブログ、観光マップの  
作成）など、地域でできるものから

### 学校・研究機関の受入 (研究や合宿等の誘致)

合宿・部活、農村留学等の誘致  
山師の学校⇒担い手の育成など

場所：学校・旧保育所を活用  
いつ：この夏から少しづつ  
方法：専門機関（大学等）と提携  
⇒学生を地域に呼び込む  
⇒新しいアイデアを地域に

### 学校施設の整備・改修

宿泊施設や避難所、拠点施設として  
⇒水周りやトイレ、バリアフリー化

ひと：地区で整備案を考えていく  
いつ：1年目から形を考えていく  
⇒工事を終了すべく取っかかりかかろう

### 周辺環境の整備・改修

個々の取組に必要な環境整備  
⇒学校や川、山道、案内板など

方法：できるところは自分たちで始める

■地域の資源を活用し、「いまいる  
人が楽しく生きられる」「地域外の  
人を呼び込む・帰ってこられる」石  
原にするための研究・環境整備

## 石原全体を元気にする 石原での「集い」

### 旧小学校での「集い」

地域の人が集まる居酒屋・喫茶・教室  
地域外の人の宿泊・合宿の受入

いつ：まずは1F部分の活用から  
方法：いろいろな人が集う複合的施設に  
⇒周辺施設への波及効果を

### JA店舗（倉庫など）や 直売所での「集い」

直売所+喫茶コーナー  
集出荷場を兼ねる一人が集まる

場所：直売所、JA肥料倉庫あと  
いつ：直売所開始と並行して  
方法：出荷や買い物に来た人が「集う」

### 「空き店舗」での集い

旅館・旧郵便局跡などの活用  
⇒昭和レトロ喫茶や居酒屋、宿泊  
建物の「特性」を活かしながら

場所：旭屋、くらや、旧郵便局など  
いつ：旧小学校を中心に周辺の活用から  
方法：建物を活かして「街並みの再構成」

### 集会所・保育所での「集い」

高齢者デイやカルチャースクールなど

場所：旧保育所や各集会所など  
いつ：保育ミニデイなどの拡充から  
方法：送迎の補助や人材育成が必要

### 神社・寺社、公園、自然での「集い」

公園や神社寺社、自然の活用

場所：高峰・河内・龍神社、地蔵寺  
栗師堂、公園、陣ヶ森、押ノ川等

■人の「集まり」の維持が、集落活  
動センターの肝となる

## 各部会の連携・協力が大事！

### 事務局

■高知ふるさと応援隊（集落支援員、地域おこし協力隊） ■事務局：旧小学校

### サポート

■土佐町役場（全庁横断的に） ■支援機関（土佐町社協など） ■高知県庁（地域支援企画員、支援チームほか）